

平成26・27年度県関係各課食育関連事業の実施状況

【総括表】

(1)重点施策別

区 分	平成26年度		平成27年度		前年度差	
	事業数	予算額 (当初)	事業数	予算額 (当初)	事業数	予算額 (当初)
施策1 食育を通じた健康づくり	11	92,220 千円	11	95,961 千円	0	3,741 千円
施策2 五感を使った食育の推進	7	7,295 千円	7	9,104 千円	0	1,809 千円
施策3 「食材王国みやぎ」の理解と継承	22	191,199 千円	22	197,248 千円	0	6,049 千円
施策4 食の安全安心に配慮した食育	5	19,072 千円	5	16,894 千円	0	△ 2,178 千円
施策5 みんなで支えあう食育	8	5,090 千円	8	5,338 千円	0	248 千円
総 数	53	314,876 千円	53	324,545 千円	0	9,669 千円

(2)部局別

区 分	平成26年度		平成27年度		前年度差	
	事業数	予算額 (当初)	事業数	予算額 (当初)	事業数	予算額 (当初)
環 境 生 活 部	2	2,848 千円	2	2,445 千円	0	△ 403 千円
保 健 福 祉 部	10	27,004 千円	10	32,795 千円	0	5,791 千円
経 済 商 工 観 光 部	14	5,061 千円	14	7,875 千円	0	2,814 千円
農 林 水 産 部	15	200,878 千円	15	200,043 千円	0	△ 835 千円
教 育 庁	12	79,085 千円	12	81,387 千円	0	2,302 千円
総 数	53	314,876 千円	53	324,545 千円	0	9,669 千円

【重点施策1:食育を通じた健康づくり】

プラン1 生涯を通じた健康づくり プラン2 健全な食生活の実現

事業名	平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
			26年度当初	27年度当初
1 みやぎ21健康プラン推進事業(健康推進課)	<p>1 みやぎ21健康プラン推進協議会の開催(2回)</p> <p>2 みやぎ21健康プラン評価委員会(有職者ワーキング)の開催(2回)</p> <p>3 地域・職域連携推進部会の開催(5部会)</p> <p>4 市町村健康増進計画策定への支援(27市町, 延べ92回)</p> <p>5 県民健康調査の実施(対象者2,632人, 回答者2,443人(協力率92.8%))</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会及び評価委員会において, プランの進行管理や効果的な推進のための方策等について, 検討を行った。 ・地域・職域連携推進部会では, 各地域における健康課題の解決や地域と職域の連携の方策等について, 検討を行った。 ・プランの中間評価等の基礎資料とするため, 県民健康調査を実施した。 	<p>少子高齢社会を健康で活力あるものとし, 県民の健康寿命の延伸を図るため, 「第2次みやぎ21健康プラン」の進行管理を行うとともに, 効果的かつ継続的な推進を図ることを目的に下記事業を実施するもの。</p> <p>1 みやぎ21健康プラン推進協議会の開催</p> <p>2 みやぎ21健康プラン評価委員会(有職者ワーキング)の開催</p> <p>3 地域・職域連携会議等の開催</p> <p>4 市町村健康増進計画策定への支援</p> <p>5 平成26年県民健康調査報告書の作成</p>	3,415	761
2 メタボリックシンドローム対策戦略事業(健康推進課)	<p>1 脱メタボ重点推進モデル事業</p> <p>①食生活・運動実態調査(156人)</p> <p>②標語階段ステッカーの配付(147箇所)</p> <p>③イベントや広報紙等による普及啓発(イベント延べ3,855人)</p> <p>2 塩エコ(eco)キャンペーン(9回, 延べ2,115人)</p> <p>3 メタボ予防プロジェクト</p> <p>①栄養・食生活分野(11回, 延べ2,157人)</p> <p>②身体活動・運動分野(9回, 延べ891人)</p> <p>③たばこ分野(19回, 延べ1,430人)</p> <p>4 親子でメタボ予防イベント(2回, 511人)</p> <p>5 宮城県受動喫煙防止ガイドラインの策定</p> <p>6 ホームページ「脱メタボ 始めました!」を活用した情報提供(減塩レシピや市町村ウォーキングマップ, 健康づくりに取り組む事業所等を紹介)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次みやぎ21健康プランにより, 重点的に取り組む分野である「栄養・食生活」, 「身体活動・運動」, 「たばこ」に関する事業を展開することにより, 生活習慣の改善や健康づくりに対する県民の意識の醸成を図った。 	<p>本県は, H20年度からH24年度まで, メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が5年連続全国ワースト2位となっており, メタボワーストを脱出するため, 下記の事業を展開することにより, 県民のメタボ予防に対する関心を高め, 特に次世代を担う若い世代等への普及啓発を行い, 脱メタボを県民運動として展開するもの。</p> <p>1 脱メタボ重点推進モデル事業</p> <p>2 塩エコ(eco)キャンペーン</p> <p>3 メタボ予防プロジェクト</p> <p>4 親子でメタボ予防イベント</p> <p>5 受動喫煙ゼロ作戦(受動喫煙防止宣言施設登録制度の創設等)</p> <p>6 (仮称)脱メタボ推進ネットワーク会議の設置【新規】</p> <p>7 脱メタボ推進運動【新規】</p> <p>8 ホームページ「脱メタボ 始めました!」を活用した情報提供</p>	5,566	9,768
3 歯科保健事業(健康推進課)	<p>1 歯科保健推進事業</p> <p>①歯科保健推進協議会の開催(2回)</p> <p>②フッ化物洗口導入モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設職員研修会(3回, 120人) ・保護者説明会(6回, 409人) ・導入経費の補助(4市町) <p>③障がい児(者)施設歯科健診・口腔ケア指導モデル事業(7施設)等</p> <p>2 8020運動推進特別事業</p> <p>①8020運動推進特別事業検討評価委員会の開催(2回)</p> <p>②乳幼児むし歯予防総合教室(2回, 52人)</p> <p>③小・中学生体験歯みがき教室(4回, 155人)</p> <p>④教育教材作成(教育ツール:CD-ROM 500部作成)</p> <p>⑤要介護者・障がい児(者)の口腔ケア支援者研修会(5回, 326人)等</p> <p>3 在宅歯科医療連携室整備事業</p> <p>①在宅歯科医療連携室の設置運営</p> <p>②みやぎ訪問歯科・救急ステーションへの運営費補助(宮城県歯科医師会)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画に基づき, 各種事業を展開することにより, 計画の目標である3歳児の1人平均むし歯数が目標の1本以下を達成(H25年:0.99本)するなど, 着実に歯科口腔保健の向上が図られている。 	<p>県民一人ひとりがその健康状態やライフステージに応じた歯と口腔の健康づくりができるよう支援し, 乳幼児のむし歯減少及び8020運動の促進など県民の歯科保健水準の向上を図る。</p> <p>1 歯科保健推進事業</p> <p>①歯科保健推進協議会の開催</p> <p>②フッ化物洗口導入モデル事業</p> <p>③障がい児(者)施設歯科健診・口腔ケア指導モデル事業</p> <p>④幼児・職域・老人福祉施設及び障がい児(者)施設等における歯科保健活動状況調査【新規】</p> <p>⑤口腔保健支援センター設置・運営【新規】等</p> <p>2 8020運動推進特別事業</p> <p>①8020運動推進特別事業検討評価委員会の開催</p> <p>②妊娠中からの歯科保健事業</p> <p>③幼児歯科保健関係者研修会【新規】</p> <p>④教育教材作成事業</p> <p>⑤要介護者・障がい児(者)の口腔ケア支援者研修会 等</p> <p>3 在宅歯科医療連携室整備事業</p>	13,108	16,408

事業名	平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
			26年度当初	27年度当初
4 地域栄養管理対策事業(健康推進課)	1 地域栄養管理事業 ・市町村への支援【講話・担当者会議等】(67回, 1,222人) 2 食品表示の適正化に関する指導等 ①普及啓発(14回, 474人) ②相談(69件) ③監視指導(1件)	1 地域栄養管理事業 ・市町村への支援【講話・会議等】 2 食品表示の適正化に関する指導等 (1)啓発普及 ・食品関連事業者向け 7圏域研修会の実施 ・一般県民向け 研修会(各保健所) (2)相談業務	463	529
5 食生活改善普及事業(健康推進課)	1 生活習慣病予防のための食生活改善講習会 ・野菜を1日5皿食べよう講習会(35回, 735人参加) ・肥満予防講習会(35回, 712人参加) 2 食生活改善推進員の活動育成支援 県内各地区で、食生活改善推進員の育成支援実施 【成果】 ・35市町村全てで講習会を実施し、多くの県民に食生活改善に向けた普及啓発を図った。 ・参加者のほとんどが野菜の大切さや1日に必要な食事の量について理解を深め、食生活を改善する意欲を高めることができた。	1 生活習慣病予防のための食生活改善講習会 ・肥満予防講習会(各市町村2回ずつ実施) 2 食生活改善推進員の活動育成支援 県内各地区で、食生活改善推進員の育成支援実施	973	990
6 特定給食指導事業(健康推進課)	特定多数に対して継続的に食事を提供する特定給食施設等への助言指導、給食関係者等の研修及び喫食者健康教育を行い、給食の質の向上を図るとともに、喫食者の健康増進を図った。 1 特定給食施設等への行政指導(433件) 2 給食施設従事者研修会(15回, 827人参加)	特定多数に対して継続的に食事を提供する特定給食施設等への助言指導、給食関係者等の研修及び喫食者健康教育を行い、給食の質の向上とともに、喫食者の健康増進を図る。 1 特定給食施設等への行政指導 2 給食施設従事者研修会	539	512
7 はやねはやおきあさごはん推奨運動(教育企画室)	1 取組事例ホームページ掲載 2 リーフレットの配布などの啓発活動 3 着ぐるみによる普及啓発 4 子育て応援団すこやか2014へのブース参加による啓発活動 5 早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城との連携	1 取組事例ホームページ掲載 2 リーフレットの配布などの啓発活動 3 子育て応援団すこやか2015へのブース参加による啓発活動 4 早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城との連携	非予算	非予算
8 基本的な生活習慣定着促進事業(教育企画室)	1 みやぎっ子ルルブルフォーラムの開催(講演会・対談等) 2 被災地域におけるルルブルフェスティバルの開催(石巻市・亶理町) 3 優良活動団体の表彰(25団体) 4 小学生ルルブルポスターコンクール入賞者の表彰(13名) 5 平成25年度受賞団体(16団体)の取組実践紹介パネル作成・展示 6 ルルブル会員団体の取組紹介(テレビ) 7 パンフレットの増刷と配布 8 ルルブル紙芝居の制作と配布 9 紙芝居演劇の上演(40回) 10 ルルブルCM・ミニ番組の放送及び新聞意見広告の掲載 11 会員団体の募集・勧誘、会員へのアンケート実施及び会員証等の発送、自主的取組・連携促進(新規登録138件) 12 ルルブル通信の発行(5回) 13 ルルブル挑戦事業の実施(参加者約14,000人)	1 ルルブルフォーラムの開催(講演会等) 2 ルルブル親子スポーツフェスタの開催(宮城県総合運動公園) 3 優良活動団体の表彰 4 小学生ルルブルポスターコンクール入賞者の表彰 5 平成26年度受賞団体(25団体)の取組実践紹介パネル作成・展示 6 ルルブル企業セミナーの開催 7 パンフレットの増刷と配布 8 紙芝居演劇の上演(20回) 9 会員団体の募集・勧誘、会員の自主的取組・連携促進 10 新聞意見広告の掲載 11 ルルブル通信の発行 12 ルルブル挑戦事業の実施	46,503	45,181
9 夜間定時制高等学校夜食実施事業(スポーツ健康課)	・完全給食6校, 補食給食2校で実施	・完全給食6校, 補食給食2校で実施	8,252	6,784
10 中学校給食費(スポーツ健康課)	・完全給食1校, ミルク給食1校で実施	・完全給食1校, ミルク給食1校で実施	729	757
11 特別支援学校給食実施事業(スポーツ健康課)	・16校で完全給食を実施	・16校で完全給食を実施	12,674	14,271

【重点施策2:五感を使った食育の推進】

プラン3 楽しく食べる環境づくり プラン4 体験を通じた食育の推進

事業名	平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
			26年度当初	27年度当初
1 環境保全米プロジェクト(仙台地方振興事務所)	秋保環境保全米プロジェクト 食材への理解向上を目指し、旅館従業員、仙台市馬場小学校児童による田植え体験、稲刈り体験開催への支援 松島町田植え体験 食材への理解向上を目指し、松島高校観光科生徒による田植え体験等開催への支援	秋保環境保全米プロジェクト 食材への理解向上を目指し、旅館従業員、仙台市馬場小学校児童による田植え体験、稲刈り体験開催への支援 松島町稲刈り体験 食材への理解向上を目指し、松島高校観光科生徒による稲刈り体験等開催への支援	非予算	非予算
2 黎明田畑を活用した農業体験学習(北部地方振興事務所)	古川黎明中学校に対し、米や野菜などの農業体験や学習発表会の活動支援を行い、農業や農作物に対する理解を深めた。 ・農業体験 2回(5・6月) ・発表会 1回(2月)	古川黎明中学校に対し、米や野菜などの農業体験や学習発表会の活動支援を行う。 ・農業体験 2回(5・6月) ・発表会 1回(2月)	非予算	非予算
3 子ども農業体験学習推進事業(農業振興課)	小中学校における農業体験学習の取組支援(小・中学校教員に対する農業セミナー開催) H26.8.5 作物コース(大崎市) 参加者 13人 H26.8.6 園芸コース(名取市) 参加者 14人 H26.8.7 加工コース(名取市) 参加者 16人 【成果】 ・小・中学校の教員を対象に農作業や農産加工等の体験や県内の農業者との意見交換をとおして農業に対しての理解を深めることができた。	1 小中学校における農業体験学習の取組支援(小・中学校教員に対する農業セミナー開催) H26.8.4 作物コース(農業大学校古川教場) 参加者 4人 H26.8.5 加工コース(農業大学校名取教場) 参加者 8人 H26.8.6 園芸コース(農業大学校名取教場) 参加者 11人 2 農業体験学習アンケート実施 県内の全小中学校を対象に農業体験の実施状況や進める上での課題等についてアンケートを実施。	167	159
4 みやぎの田園環境教育支援事業(農村振興課)	農業・農村の持つ魅力などを再認識してもらうとともに、農村環境保全に係る意識の醸成を図るため地域や学校教育と連携し、田んぼの生き物調査、小学校総合学習への支援を行った。 1 地域や学校教育と連携した農村環境保全等の協働活動への支援(回) 35回 2 地域や学校教育と連携した農村環境保全等の協働活動に参加した人数(人) 3,235人	農業・農村の持つ魅力などを再認識してもらうとともに、農村環境保全に係る意識の醸成を図るため地域や学校教育と連携し、田んぼの生き物調査、小学校総合学習への支援を行う。	非予算	非予算
5 グリーン・ツーリズム促進支援事業(農村振興課)	市町村等が実施するグリーン・ツーリズム活動への助言指導と関係団体への人材派遣による現地指導等のほか、民間主導の協議会運営を支援した。 1 みやぎグリーン・ツーリズムアドバイザー現地指導 12回 2 体験学習等による農林漁家民泊の推進	市町村等が実施するグリーン・ツーリズム活動への助言指導と関係団体への人材派遣による現地指導等のほか、民間主導の協議会運営を支援する。	2,842	3,137
6 協働教育基盤形成事業(生涯学習課)	協働教育基盤形成事業(うち食育に関連する事業) 1 子育てサポーター養成講座(県内各圏域18回のべ341人参加) ・受講者数136人 ・修了者77人 2 子育てサポーターリーダー養成講座(全4回 のべ286人参加) ・受講者数108人 ・修了者57人 3 子育てサポーターリーダーネットワーク研修会(全2回 のべ250人参加) 4 ホームページでの「はやね はやおき 朝ごはん」の推奨に関する情報提供 【成果】 ・各市町村で家庭教育支援を行うボランティアを養成する講座等において、バランスの取れた栄養の摂取や、食事に関心を高める方法等に関する研修を取り入れ、家庭教育の一環として食育が重視されるよう啓発を図った。	◇協働教育基盤形成事業(うち食育に関連する事業) 各家庭が望ましい食生活を持続的にを行い、健康な子どもが育まれるように、食育の啓発に努める。このために、家庭教育支援を行うボランティア(子育てサポーター、子育てサポーターリーダー)を養成する講座等において、これを果す研修内容と取り入れるとともに、WEBページ上で情報を発信する。 1 子育てサポーター養成講座(県内各圏域18回) 2 子育てサポーターリーダー養成講座(全4回) 3 子育てサポーターリーダーネットワーク研修会(全2回) 4 WEBページでの「はやね はやおき 朝ごはん」の推奨に関する情報提供	4,286	5,808
7 子どもの健康を育む総合食育推進事業(国委託事業)(スポーツ健康課)	・学校給食研究協議会の開催(189名参加) ・食に関する指導推進研修会の開催(61名参加) ・学校給食伊達な献立コンクール開催(24チーム参加) ・食育啓発ポスターコンクール開催(応募総数133点) ・食育推進啓発カレンダー作成(小中学校、給食施設、給食実施県立学校等に配付)	・学校給食研究協議会の開催 ・食に関する指導推進研修会の開催 ・学校給食伊達な献立コンクール開催 ・食育啓発ポスターコンクール開催 ・食育推進啓発カレンダー作成	0	0

【重点施策3:「食材王国みやぎ」の理解と継承】

プラン5 地産地消の推進 プラン6 食文化の伝承

事業名	平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
			26年度当初	27年度当初
1 仙南地域地場農産物等PR(大河原地方振興事務所)	仙南地域で生産される農産物及び加工品の利用拡大を図るとともに、生産者と利用者・消費者間の交流の場を提供する。 ・仙南地域地場農産物等販売交流会の開催 6回 ・大河原合同庁舎広報誌による地場農産物の紹介 4回	大河原合同庁舎広報誌において、仙南地域で生産される農産物及び加工品の紹介を行う。 ・大河原合同庁舎広報誌による地場農産物の紹介 4回	非予算	非予算
2 地域産業振興事業【みやぎ蔵王三十六景推進事業】(大河原地方振興事務所)	1 地域の逸品推奨事業 ・「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の推奨 新規1品 2 仙南うまいもの祭開催事業 ・みやぎ蔵王三十六景「仙南うまいもの祭」の開催 来場者7,000人	1 地域の逸品推奨事業 ・「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の推奨 新規1品 2 仙南うまいもの祭開催事業 ・みやぎ蔵王三十六景「仙南うまいもの祭」の開催	500	3,507
3 地域食材利活用推進事業(仙台地方振興事務所)	河北しゅん等を通じ、料理人や消費者へ多様な情報発信を行うことにより、仙台地域の食材の地産地消推進を図り、食材への理解を得る。 1 おすすめ食材PR事業 ①河北しゅんにおける産地復活PR しゅんに年6回6食材掲載 ②料理人へ食材マッチング 年2回 伊達いわな、仙台牛 ③みやぎ食材伝道士による復活食材ライブクッキング ピンチョウマクロ、パブリカ、仙台牛 ④仙台牛消費拡大PR 買える店・食べられる店チラシを作成し、仙台空港キャラバン等で配布 ⑤地産地消推進食材PR 水産練り製品、仙台牛、しいたけの消費拡大 H26.11.6~7 パネル展示・販売・試食 2 地域水産物・水産加工業支援事業 H26.11.6~7 塩釜フェア 水産練り製品展示・アンケート実施 3 水産練り製品生産量日本一奪回事業〜おでんまつり〜 H26.11.6~7 塩釜おでん販売・PR	河北しゅん等を通じ、料理人や消費者へ多様な情報発信を行うことにより、仙台地域の食材の地産地消推進を図り、食材への理解を得る。 1 おすすめ食材PR事業 ①河北しゅんにおけるオススメ食材PR しゅんに年6回6食材掲載(伊達いわな、かまぼこ、いちじく、メカジキ、のり、金のいぶき) ②料理人へ食材マッチング 年2回 農業コース、水産コース ③みやぎ食材伝道士によるオススメ食材ライブクッキング かまぼこ、仙台黒毛和牛、トマト、ネギ、マイタゲ ④地産地消推進食材PR 水産加工品、仙台牛・黒毛和牛、しいたけの消費拡大 H27.11.12~13 パネル展示・販売・試食 2 地域水産物・水産加工業支援事業 H27.11.12~13 塩釜フェア 水産加工品展示・販売 3 水産練り製品生産量日本一奪回事業〜おでんまつり〜 H27.11.12~13 塩釜おでん販売・PR	1,757	1,170
4 大崎ふれあい市事業(北部地方振興事務所)	大崎地域の農林産物や加工品のPRと消費者交流を促進するため、古川八百屋市in仙台(勾当台公園)の開催を支援し、地元の農産物を消費者にPRすることができた。 春 5月28・29日 秋 10月30日	大崎地域の農林産物や加工品のPRと消費者交流を促進するため、古川八百屋市in仙台(勾当台公園)の開催を支援する。 春 6月上旬 秋 10月中旬	非予算	非予算
5 地域産業振興事業【発酵食あふれるまちづくり支援事業】(北部地方振興事務所)	大崎地域の地産地消に関する取組とともに、食をテーマにした地域振興を支援した。 ・地産地消関連イベントの開催支援(6月) 食楽まつり2014における発酵食・地産地消コーナー、食体験コーナーを設置し、大崎地域の食の魅力発信することができた。入場者数9,500人。 ・大崎地域の食材を味わう会の実施(3月) みやぎ食育コーディネーターによる地域食材を利用した料理の提案及び試食の提供を行い、地域食材の認知度向上と利活用促進を図ることができた。	地域産業振興事業【交流人口増加に向けた市町等との連携事業】として実施	580	-
6 地域産業振興事業【交流人口増加に向けた市町等との連携事業】(北部地方振興事務所)	一部、地域産業振興事業【発酵食あふれるまちづくり支援事業】として実施	大崎地域の地産地消に関する取組とともに、食をテーマにした地域振興を支援する。 ・食楽まつり2015における地産地消コーナー、食体験コーナーの設置 ・加美町山の幸フェアの開催支援 ・おおさき山の幸のPR ・食ってみらin美里、おおさき料理対決等食イベントにおける地域食材のPR	-	892

事業名	平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
			26年度当初	27年度当初
7 地域産業振興事業【栗原の地域食材消費拡大支援事業】(北部地方振興事務所栗原地域事務所)	<p>1. 昨年度に引き続き、栗原で開発された農商工連携、6次産業化商品を中心とするPR展示即売会「くりはら産品フェア」を仙台市内で開催。販売促進、販路開拓、地産地消の推進の効果をさらに高めるため、今年度から生産者等の自主的な企画・運営により、事業の活性化が図られるよう民間による実行委員会制の導入を検討した。</p> <p>2. 「栗原の食」を活かした地域振興として引き続き郷土料理「そばだんご」の磨き上げを実施。PR活動支援等によりそばだんごの誘客資源化が図られた。</p>	<p>1. 昨年度に引き続き、栗原で開発された農商工連携、6次産業化商品を中心とするPR展示即売会「くりはら産品フェア」を仙台市内で開催。事務局を一般社団法人栗原市観光物産協会へ移管して実施する。</p> <p>2. 地域農産物・加工品の販売促進のため「販売戦略、商品づくりに関するセミナー」を開催する。</p> <p>3. 地域農産物・加工品の営業力・情報発信力強化に向け、地域食材を取り扱う卸売事業者を大正として販売力向上支援を実施する。</p> <p>4. 郷土料理「そばだんご」について、観光資源化に向けたPR支援を実施する。</p>	499	745
8 地域産業振興事業【水産加工品支援事業】(東部地方振興事務所)	<p>水産加工業等食品関連事業者を対象とし、販路開拓や販売拡大のため大手小売店(イオンリテール(株))と連携して、商談会及び販売促進会を開催した。</p> <p>1. 商談会 ・開催日:9月9日 ・場所:合同庁舎 ・成果:5社45品目</p> <p>2. 販売会 ・開催日:11月1日～4日 ・場所:イオン石巻店ほか県内10店 ・参加者:水産加工業者10社及び菓子店7社(「いしのまき地域すいーつ」展示発表会参加店によるスイーツフェアも同時開催。) ・販売実績:3,040千円</p>	<p>いしのまきフェア(仮称)の開催 イオン石巻店と連携し、地元の食品事業者の販売促進を行う。</p> <p>・開催予定日:10月31日～11月3日 ・場所:イオン石巻店 ・その他:地元食材を使った料理実演会や宮城米のPRなども行う。</p>	391	198
9 地域産業振興事業【食の逸品支援】(東部地方振興事務所)	<p>1. みやぎ石巻大漁宝船弁当の開発販売支援 仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン2014に向け、(一社)石巻元気復興センター、(株)日本レストランエンタープライズ、JRと連携して、“第2弾”としてパッケージと使用食材をリニューアルし、更なる地域食材のPRや販路拡大に努めた。 5月19日には、合同庁舎を会場に、お披露目会を開催してPRを行った。 【販売期間】4月10日～(好評販売中)</p> <p>2. 海の幸・山の幸うまいもの市～なべ交流～ 奥松島・金華山 石巻圏周遊観光協議会と共催で、地域特産品や観光資源のPRを行った。 ・開催日:11月12日～13日 ・場所:仙台市民広場(勾当台公園) ・参加者:11事業者 ・販売実績:966千円, 6,350人来場</p>	<p>いしのまき 海の幸・山の幸うまいもの市(仮称)の開催 奥松島・金華山 石巻圏周遊観光協議会と共催で、地域特産品や特産品の販売、観光PRなどを行う。</p> <p>・開催予定日:11月15日～16日 ・場所:仙台市民広場(勾当台公園)</p>	160	291
10 地域産業振興事業【登米地域の「食」による観光復興支援事業】(東部地方振興事務所登米地域事務所)	<p>登米地域の「食」による観光復興支援事業の一環として実施。 ・登米市観光モニターツアー 広い世代の登米地域への誘客、交流人口の拡大を目指し登米の食の魅力を活かした親子体験型モニターバスツアーを実施(仙台発着)。ツアーでは、田んぼの学校、農産物直売所、きゅうり栽培現場の見学などを行った。 ・登米の味力PR 登米の農産物や登米の地場産食材を活用したメニュー・商品、登米グルメ(はっと、油麩井等)など、多彩な登米の「食」の味力を広くPRするため、関係団体等と連携し市内はもとより県内外に向けたPRを行った。また、農産物直売所マップを作成した。 【成果】 ・モニターツアーで田んぼの学校、きゅうり産地の見学を実施したことにより、五感を使った食育に結びつけることが出来た。 ・モニターツアーの行程に農産物直売所を組み入れた他、農産物直売所マップを作成したことにより、農産物直売所の活用による生産者と消費者の交流を促進出来た。 ・多彩な登米の「食」をPRすることで、地産地消の推進や、食文化の伝承を行うことが出来た。</p>	<p>地域産業振興事業 【登米地域観光戦略・実践事業】 当事業の一環として、県内外のイベントを活用し、登米産牛などの特産品の情報発信・PRを行う。</p>	890	925

事業名	平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
			26年度当初	27年度当初
11 「親子で地域食材クッキング体験」 「地域の郷土食伝承講習会」(気仙沼地方振興事務所)	「親子で地域食材クッキング体験」 地域食材や農産加工に興味がある若年女性、親子を対象に2回実施。 「地域の郷土食伝承講習会」 農産加工技術を次世代の女性農業者に伝承するもので、郷土食作りを実施。 【成果】 今まで漠然としていた若手女性の存在や数、ニーズが顕在化された。また、この講習会をきっかけに子育て世代と高齢世代の交流が生まれ、終了後も交流が続くなど地域活性化に貢献している。継続を望む声が多く寄せられている。	「親子で地域食材クッキング体験」 地域食材や農産加工に興味がある若年女性、親子を対象に2回程度予定(気仙沼市と南三陸町)。 「農産加工研修会」 すでに農産加工を始めている方を対象に、商品ブラッシュアップのための研修会を開催予定。	284	147
12 地場産品生産者に対する支援(地場産品臨時直売所の合庁内設置等)(気仙沼地方振興事務所)	・7月から毎月第1金曜日に、気仙沼合同庁舎の1階に管内の農林産物や農林水産加工品の臨時直売所を設置し、職員及び来庁者に購入を促し、地場産品の消費拡大を図った。 臨時直売所の開催9回 ・毎週金曜日に館内放送を実施し、地場産品の購入を促した。 管内放送43回実施	毎月第1金曜日に、気仙沼合同庁舎の1階に管内の農林産物や農林水産加工品の臨時直売所を設置し、職員及び来庁者に購入を促し、地場産品の消費拡大を図る。 さらに、8月から「みやぎ水産の日」(毎月第3水曜日)の週の金曜日に臨時直売所を設置し、職員及び来庁者に水産物の購入を促す。 また、毎週金曜日に館内放送を実施し、地場産品の購入を促す。	非予算	非予算
13 食育・地産地消推進事業(食産業振興課)	1 地産地消の展開 ・地産地消意識の普及啓発 各種イベントで、民間企業と連携した情報発信 高校生地産地消お弁当コンテストの開催(27校 137件応募) ・地産地消推進店の募集・利用拡大 登録数 352店舗(H27.3末現在) その他、年3回キャンペーンの実施及び食べ歩きガイドブックの作成・配布(別予算) ・協議会等が実施する地産地消推進活動への支援 2団体に対し、交付金による支援を実施 2 県産食材の理解促進・利用拡大に向けた宮城の「食」の発信 ・「食材王国みやぎ」登録者 30者(H27.3末現在) 「伝え人」による講習会開催 2回2コース(うち1コースは、別予算委託事業で実施) ・教育ファームの取組を行う事業主体への交付金交付 1団体	1 地産地消の展開 ・地産地消意識の普及啓発 ・地産地消推進店の募集・利用拡大 ・協議会等が実施する地産地消推進活動への支援 2 県産食材の理解促進・利用拡大に向けた宮城の「食」の発信 ・食関連事業者による宮城の「食」の理解促進 ・教育ファームへの支援	7,758	5,961
14 県産ブランド品確立支援事業(食産業振興課)	1 認証食品(3E食品)制度の普及等 県内産の原材料を使用し、県内で製造した地域特産品について公的な認証を行うことにより、消費者の信頼を高め、食品産業の振興を図った。 ○認証・更新(H27.3末現在) ・新規認証 22事業者 44商品 ・更新認証 36事業者 111商品 ・総認証数 97事業者 286商品 ○認証食品の普及啓発 ・県庁1階宮城広報室や18階県政広報室での展示PR ・薬販売会での販売PR ・イベントでの展示PR 2 「食材王国みやぎ」フェアの開催 首都圏等の有名ホテルで宮城の豊富な食材をPR(H27.3末現在) 15回 579日間 3 みやぎ食材出合いの旅 県外の有名ホテル等の料理人、バイヤーと県内生産者等とのマッチング(H27.3末現在) 9回延べ19日間	1 認証食品(3E食品)制度の普及等 ○認証基準検討・認証 ・認証基準に適合した食品の認証 ○認証食品の普及啓発 ・県政だよりによる認証食品目の紹介 ・販売フェア、イベント等での展示PR 2 「食材王国みやぎ」フェアの開催 首都圏等の有名ホテルで宮城の豊富な食材をPR 3 みやぎ食材出合いの旅 県内外の有名ホテル等の料理人、百貨店や高質スーパー等の仕入担当者をターゲットとし、本県の食材の利用促進を図ることで、「食材王国みやぎ」の知名度及び付加価値向上を図る。	6,765	5,179
15 地域イメージ確立推進事業(食産業振興課)	1 「食材王国みやぎ」情報発信事業 宮城の食の情報発信ウェブサイト「食材王国みやぎ」及び「ぶれい夢みやぎ」の運営 アクセス数 411,623件(H27.3末現在, 前年度同期比120.7%)	1 「食材王国みやぎ」情報発信事業 食関連情報サイト「宮城の食の総合ウェブサイト」を効率的・効果的に運営するとともに、情報の収集に努め、常に新しい情報を発信する。	3,254	3,100

事業名		平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
				26年度当初	27年度当初
16	宮城米広報宣伝事業(食産業振興課)	宮城米マーケティング推進機構が実施する宮城米の広報宣伝活動事業に加え、首都圏等大消費地へ直接、宮城県産米を売り込むための販売支援活動を実施し、安全性の理解と評価高揚及び消費拡大を推進した。	宮城米マーケティング推進機構が実施する宮城米の広報宣伝活動事業に加え、首都圏等大消費地へ直接、宮城県産米を売り込むための販売支援活動を実施し、安全性の理解と評価高揚及び消費拡大を推進する。	13,796	13,106
17	みやぎの園芸・畜産物消費拡大事業(食産業振興課)	消費拡大等に係る事業を実施する関係団体の事業費の一部補助を行うことにより、「仙台牛」をはじめとする県産牛肉及び宮城野豚等の県産豚肉の銘柄確立と認知度向上、流通・消費の拡大を推進するとともに、県産園芸作物のブランド化の推進と消費の拡大を図った。	消費拡大等に係る事業を実施する関係団体の事業費の一部補助を行うことにより、「仙台牛」をはじめとする県産牛肉及び宮城野豚等の県産豚肉の銘柄確立と認知度向上、流通・消費の拡大を推進するとともに、県産園芸作物のブランド化の推進と消費の拡大を図る。	4,727	4,718
18	みやぎまるごとフェスティバル開催事業(食産業振興課)	みやぎまるごとフェスティバル2014 ～あふれる笑顔のみやぎ印～ 平成26年10月18日(土)～19日(日)の2日間 開催 ・総団体数108団体 ・総テント数138テント ・来場者数 2日間延べ15万5千人	県内の農林水産業、商工業及び職業能力開発などの関係団体並びに地方自治体の協力を得て、農林水産業者、製造加工業者、販売業者及び技能者等が一堂に会し、これらの産業分野を横断した県産品や技能者の作品等の展示・販売・実演などを行うことにより、県産品の消費拡大及び地場産業の振興を図ること、また、創造的復興に向けて着実に歩みを進める宮城の姿を発信することを目的として開催する。 ・市町村特産品、伝統的工芸品の展示販売 ・生鮮野菜、海産物、新米、畜産物などの販売 ・農産加工品の手作り加工品、花などの展示販売等	5,000	5,000
19	地域食材発掘・販路拡大事業(食産業振興課)	県庁1階玄関ホールにおいて、市町村等による展示・販売会を実施し、県産品の普及拡大を図った。 ・実施回数 48回(48週) ・実施団体数 22団体(8市、11町、3地方事務所) ・総売上額 28,408,686円	「食材王国みやぎ」の展開の一つである「地産地消」をより実践推進するため、県庁1階玄関ホールを活用し、地域の特色ある食材を発掘するとともに都市部での販路拡大の可能性を探るため市町村や地方振興事務所(地域事務所)を主体とした展示・販売会を定期的実施する。	非予算	非予算
20	学校給食における県産食材利用推進事業(農産園芸環境課)	11月を「すくすくみやぎっ子みやぎのふるさと食材月間」として、県内農産物の利用拡大に向け、普及・啓発を図った。地場産野菜等利用品目数割合は、28.0%となり、前年を3.9ポイント上回った。 県産食材(にんじん、パプリカ)をソフトスチーム加工した給食素材を試作し、学校給食関係者の方に試用・評価いただいた。	県産食材の利用推進に向けた「すくすくみやぎっ子 みやぎのふるさと食材月間」の普及啓発を行うとともに、モデル地区を選定し、県産食材を使用した新たな給食素材となる一次加工品を試作するなど、利用拡大に向けた取組を行う。	1,679	1,589
21	宮城米学校給食実施事業(農産園芸環境課)	学校給食への宮城米の提供は行われたが、26年度は基準価格を上回ることがなかったため、財政支援は行わなかった。	学校給食には「みやぎ米飯給食支援方式」により本県産ひとめぼれ1等米を提供し、「日本型食生活」の普及を図っているが、不作等により米価が急騰した場合、その掛かり増し経費の一部を負担する。	100	100
22	宮城米産地強化対策事業(農産園芸環境課)	1 多彩なみやぎ米づくり推進事業 県内9ヶ所に技術実証ほを設置し、栽培技術講習会等で調査結果を活用した。また、新品種「東北194号」について、今後の普及拡大に向け、高品質生産に向けた栽培のポイント等栽培の目安を策定し、関係機関・団体・生産者等への周知を図った。 2 水稲直播栽培普及拡大事業 鉄コーティング直播栽培の本県における主要品種や気象条件に対応した栽培技術の確立を検討するとともに、直播栽培展示ほを9か所設置し、生育調査のデータ等を活用した現地検討会の開催や安定生産に向けた技術支援等を行った。 3 「ポストひとめぼれ」育成推進事業 次期主力品種の早期育成に向け、関係機関・団体と連携して有望系統の食味について確認を行うとともに、新品種候補絞り込みの検討を行った。	水稲直播栽培技術の導入など省力・低コスト化の推進による稲作経営の安定化を図るとともに、消費者・実需者ニーズに対応した特色ある宮城米づくりを推進することで「売り切る米づくり」、「宮城米の評価向上」を目指す。 さらに次期主力品種の早期育成に向け、現地栽培試験と並行して有望系統の食味分析試験や炊飯特性試験などを行う。	1,286	1,622

事業名	平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
			26年度当初	27年度当初
23 新世代アグリビジネス総合推進事業(農産園芸環境課)	<p>1 アグリビジネス・チャレンジ支援事業 (公財)みやぎ産業振興機構と連携し、講座の開催や専門家派遣等を実施した。 ①経営者養成講座(入門, 実践, 経営革新の3講座を開催) ②販路開拓支援(商談力向上研修会, 商談会出展支援, マッチング支援) ③専門家派遣や機構職員による課題解決支援 ④アグリビジネス復興戦略塾</p> <p>2 アグリビジネス経営基盤強化整備事業 事業申請3件のうち2件について認定</p> <p>3 大規模園芸経営体育成事業 事業申請3件のうち2件について認定</p> <p>4 農産物直売・農産加工ビジネス支援 ①専門アドバイザー派遣(各組織の課題に応じて専門家派遣 派遣団体数:12) ②農産物商品づくり研修会(加工品開発や食品表示に関する研修会の開催 計3回開催 計167名参加) ③農産物直売所のマーケティング力強化支援等(マーケティング調査及び販売戦略立案) ④農産物直売所等PR(直売所スタンプラリーや、消費者バスツアーの実施 スタンプラリー参加店舗数136店 バスツアー美里町 参加者数32人)</p>	<p>1 アグリビジネス・チャレンジ支援事業 (公財)みやぎ産業振興機構と連携し、講座の開催や専門家派遣等を実施する。 ①経営者養成講座 ②販路開拓支援 ③専門家派遣や機構職員による課題解決支援 ④アグリビジネス復興戦略塾</p> <p>2 アグリビジネス経営基盤強化整備事業 年間販売額1億円以上を目指す農業法人に対して、計画達成に必要な機械や施設等の取得又は整備を支援</p> <p>3 大規模園芸経営体育成事業 施設園芸の規模拡大, 新規取組への支援, 復興を牽引する経営体の育成</p> <p>4 農産物直売・農産加工ビジネス支援 ①専門アドバイザー派遣 ②直売・農産加工者研修 ③農産物直売所のマーケティング力強化支援等</p> <p>5 みやぎの農産物直売所等魅力発信支援事業 ①農産物直売所等スタンプラリー ②バスツアー(3コース) ③ガイドブックの作成</p>	141,773	148,998

【重点施策4:食の安全安心に配慮した食育】

プラン7 安全安心な食品の供給 プラン8 食の安全安心に係る信頼の確立

事業名	平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
			26年度当初	27年度当初
1 みやぎ食の安全安心県民総参加運動(食と暮らしの安全推進課)	<p>「安全で安心できる食」の実現を目指し、食の安全安心確保対策が持続的かつ着実に図られるよう、県、生産者・事業者及び消費者の協働した取組みとして、「みやぎ食の安全安心県民総参加運動」を推進した。</p> <p>1 食の安全安心消費者モニター制度事業</p> <p>①消費者モニターの登録 849名(H27.3月末現在)</p> <p>②モニターだよりの発行 3回(5/23, 9/22, 12/18)</p> <p>③食品表示モニタリング調査 100名に委嘱(6~12月)</p> <p>④アンケート調査 1回(6月)</p> <p>⑤食品工場見学会、生産者との交流会の開催 各1回(11/14)</p> <p>⑥研修会の開催 1回(12/18)</p> <p>2 食の安全安心取組宣言事業</p> <p>①取組宣言者の登録 事業者2,992名、生産者65,717名(H27.3月末現在)</p> <p>②H25年度事業実施状況報告の取りまとめ</p> <p>3 食の安全安心相互交流理解度アップ事業</p> <p>①食の安全安心セミナーの開催 3回(10/24大崎会場, 11/26大河原会場, 1/15仙台会場)</p> <p>②地方懇談会の開催 8回(H27.3月末現在)</p>	<p>1 食の安全安心消費者モニター制度事業</p> <p>①消費者モニターの登録</p> <p>②モニターだよりの発行 3回</p> <p>③食品表示モニタリング調査 100名に委嘱</p> <p>④アンケート調査 1回</p> <p>⑤食品工場見学会、生産者との交流会の開催 各1回</p> <p>⑥研修会の開催 1回</p> <p>2 食の安全安心取組宣言事業</p> <p>①取組宣言者の登録</p> <p>②H26年度事業実施状況報告の取りまとめ</p> <p>3 食の安全安心相互交流理解度アップ事業</p> <p>①食の安全安心セミナーの開催 3回</p> <p>②地方懇談会の開催 11回</p>	2,314	1,967
2 食中毒予防啓発事業(食と暮らしの安全推進課)	<p>食中毒が発生しやすい夏場時期を食中毒予防月間として、啓発事業、監視指導、衛生講習会を実施することにより、食中毒の発生を未然に防止するもの。</p> <p>今年度は、昨年度に引き続き、消費者に対し、食肉の生食を行わないよう注意喚起するとともに、浅漬けによる食中毒予防のため、加工施設における基準遵守や衛生的な取扱いが行われるよう講習会の実施や監視指導を実施する。</p> <p>1 広報活動の実施</p> <p>①食中毒予防街頭パレード、イベント会場・大型量販店等での食中毒予防キャンペーン</p> <p>②県・市町村広報誌への食中毒予防啓発記事の掲載</p> <p>③腸炎ピブリオ食中毒注意報の発令と各保健所前に垂れ幕の掲示</p> <p>④ホームページへの食中毒予防法等の掲載</p> <p>2 チラシによる広報</p> <p>県作成の食中毒予防チラシ配付 15,000枚</p> <p>3 監視及び指導等の強化</p> <p>・監視件数 1,335件 巡回件数 4,753件</p> <p>集団給食施設(学校・福祉施設等)、大型調理施設(弁当・仕出し等)、旅館及び民宿、生食用食肉取扱施設などの監視</p> <p>4 営業者及び消費者に対する講習会 54回 参加者 2,193人</p>	<p>食中毒が発生しやすい夏場時期を食中毒予防月間として、啓発事業、監視指導、衛生講習会を実施することにより、食中毒の発生を未然に防止するもの。</p> <p>今年度は、昨年度に引き続き、消費者に対し、食肉の生食を行わないよう注意喚起するとともに、浅漬けによる食中毒予防のため、加工施設における基準遵守や衛生的な取扱いが行われるよう講習会の実施や監視指導を実施する。</p> <p>1 広報活動の実施</p> <p>①食中毒予防街頭パレード、イベント会場・大型量販店等での食中毒予防キャンペーン</p> <p>②県・市町村広報誌への食中毒予防啓発記事の掲載</p> <p>③腸炎ピブリオ食中毒注意報の発令と各保健所前に垂れ幕の掲示</p> <p>④ホームページへの食中毒予防法等の掲載</p> <p>2 チラシによる広報</p> <p>県作成の食中毒予防チラシ配付 15,000枚</p> <p>3 監視及び指導等の強化</p> <p>集団給食施設(学校・福祉施設等)、大型調理施設(弁当・仕出し等)、旅館及び民宿、生食用食肉取扱施設などの監視</p> <p>4 営業者及び消費者に対する講習会</p>	534	478
3 みやぎ出前講座「環境に優しい農業」に関する制度紹介講座(東部地方振興事務所)	<p>・希望が有る場合は県担当職員が出向き、「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」・「エコファーマー」などの制度を紹介することとしていたが、希望がなかったため実施はしていない。</p>	<p>・希望が有る場合は県担当職員が出向き、「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」・「エコファーマー」などの制度を紹介する。</p>	非予算	非予算
4 環境にやさしい農業定着促進事業(農産園芸環境課)	<p>1 特別栽培農産物の栽培</p> <p>生産登録面積 2,979ha(前年比で 98.2%)(見込み)</p> <p>2 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度運営委員会の開催 4回</p> <p>3 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度の説明会の開催 2回</p> <p>4 「環境にやさしい農業推進セミナー」開催 1回</p> <p>5 みやぎまるごとフェスティバルにおける県認証商品のPR</p> <p>6 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度のPRパンフレットの作成・配布 3,000部</p> <p>7 「みやぎの有機農業推進計画」の改訂</p>	<p>1 特別栽培農産物の栽培</p> <p>生産登録面積 2,980ha(前年比で 99.9%)</p> <p>2 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度運営委員会の開催 4回</p> <p>3 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度の説明会の開催 2回</p> <p>4 「環境にやさしい農業推進セミナー」開催 1回</p> <p>5 みやぎまるごとフェスティバルにおける県認証商品のPR</p>	11,731	7,374
5 安全・安心のための学校給食対策事業(スポーツ健康課)	<p>・学校給食用食材のサンプル測定(簡易測定による事前測定)(937検体測定。すべて精密検査の目安(50Bq/kg)以下。)</p> <p>・学校給食モニタリング検査(ゲルマニウム半導体検出器による事後検査)(250検体検査。すべて不検出。)</p>	<p>・学校給食用食材のサンプル測定(簡易測定による事前測定)(5市町, 1県立学校)</p> <p>・学校給食モニタリング検査(ゲルマニウム半導体検出器による事後検査)(11市町, 3県立学校)</p>	4,493	7,075

【重点施策5:みんなで支えあう食育】

プラン9 食育支援ネットワークの強化 プラン10 食育推進体制の充実

事業名	平成26年度の実施状況及び成果	平成27年度の計画	予算額(千円)	
			26年度当初	27年度当初
1 栄養士・調理師研修会(健康推進課)	県内行政栄養士の資質向上のため、学術研修会へ職員を派遣するなど栄養士の資質向上を図った。 1 学術研修会への派遣 【成果】 ・学術研修会等への派遣をおとして、行政栄養士のスキル向上や技術習得につなげることができた。	県内行政栄養士の資質向上のため、県で研修会を開催するなど栄養士の資質向上を図るもの。 1 県行政栄養士業務検討会の開催 2 学術研修会への派遣	190	180
2 みやぎの食育普及啓発事業(健康推進課)	みやぎの食育を県民運動として展開し、県民一人ひとりの意識の高揚と機運の醸成を図るため、様々な場面で、集中的な普及・啓発活動を実施した。 1 みやぎまるごとフェスティバルにおける「食育コーナー」の設置(10月。約2,300人來場) 2 食育フォーラムの開催(11月。300人参加) 3 普及啓発活動(HPによる情報提供、県庁食堂における普及啓、県庁ロビーにおけるパネル展示 等)	みやぎの食育を県民運動として展開し、県民一人ひとりの意識の高揚と機運の醸成を図るため、様々な場面で、集中的な普及・啓発活動を実施する。 1 みやぎまるごとフェスティバルにおける「食育コーナー」の設置(10月) 2 食育フォーラムの開催(11月) 3 普及啓発活動(HPによる情報提供、県庁食堂における普及啓、県庁ロビーにおけるパネル展示 等)	1,218	1,184
3 みやぎの食育連携事業(健康推進課)	食育関連の人材を登録制度による人材の活用と育成支援 1 みやぎ食育コーディネーターへの人材の登録(172人)と活動支援 2 みやぎ食育コーディネーター育成研修(3回) 3 地域の食育推進事業の実施(7圏域・30回)	食育関連の人材を登録制度による人材の活用と育成支援 1 みやぎ食育コーディネーターへの人材の登録と活動支援 2 みやぎ食育コーディネーター育成研修(2回) 3 地域の食育推進事業の実施(7圏域)	1,314	1,173
4 みやぎの食育推進事業(健康推進課)	宮城県食育推進会議等を開催し、宮城の特性を行かした食育の総合的かつ計画的な推進を図った。 1 宮城県食育推進会議(県)の開催(1回)	宮城県食育推進会議等を開催し、宮城の特性を行かした食育の総合的かつ計画的な推進を図る。 1 宮城県食育推進会議(県)の開催(会議2回、ワーキング2回) 2 第3期プランの策定	220	1,290
5 学校栄養職員研修事業費(教職員課)	1 新規採用者研修 学校栄養職員 1名 校外研修7日間 栄養教諭 2名 校外研修5日間 2 学校栄養職員経験者研修 5年経過 1名 校外研修4日間 10年経過 2名 校外研修7日間 3 栄養教諭経験者研修 5年経過 6名 校外研修3日間 4 食育指導者養成研修派遣 2名 4日間(つくば会場) 【成果】 ・学校栄養職員及び栄養教諭の専門職としての知識や技術に関する研修を行い、資質の向上を図ることができた。 ・「健康教育指導者養成(食育コース)」研修に2名派遣し、食に関する指導者の人材育成を図ることができた。	1 新規採用者研修 学校栄養職員 1名 校外研修7日間 栄養教諭 6名 校外研修8日間 2 学校栄養職員経験者研修 5年経過 1名 校外研修5日間 10年経過 3名 校外研修7日間 3 栄養教諭経験者研修 5年経過 9名 校外研修4日間 4 食育指導者養成研修派遣 2名 4日間(つくば会場)	786	1,138
6 栄養教諭の採用(教職員課)	食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせるため、栄養教諭を採用・配置し、食育指導の充実と食育推進を図る。 ・栄養教諭新規採用8名	食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせるため、栄養教諭を採用・配置し、食育指導の充実と食育推進を図る。	非予算	非予算
7 学校給食管理指導事業(スポーツ健康課)	・栄養教諭・学校栄養職員等の全国的な研修会・講習会への派遣等 ・学校給食施設衛生管理等巡回訪問の実施(13施設)	・栄養教諭・学校栄養職員等の全国的な研修会・講習会への派遣等 ・学校給食施設衛生管理等巡回訪問の実施(16施設)	356	373
8 学校保健研修事業(スポーツ健康課)	・第47回東北学校保健大会の開催		1,006	0